

事務事業	82	百人町三・四丁目地区の道路・公園整備					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	02	災害に強い安全なまちづくり					
施策	01	防災都市づくり					
事業内容							
目的	地区における良好な住環境整備とともに、広域避難場所としての機能を強化するため、適切な地区施設(道路・公園)の整備を図ります。						
対象・手段	地区計画に基づき、区画街路内の土地所有者等を対象に、道路計画線内の用地買収を行い、道路を築造します。また、地区計画を推進するために、従前に確保した公園用地を整備します。						
成果(事業が意図する成果)							
<p>広域避難場所として指定されている当地区において、十分な通行機能、沿線機能及び空間機能を有する各区画街路や災害時一時活動拠点であるポケットパークとして整備することによって、広域避難場所としての機能強化と良好な居住環境の保全・改善を図ることができます。</p>							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
道路整備必要面積に対する買収面積		道路整備必要面積			() 年度に (2626.78㎡) の水準達成		
整備計画での整備済公園の割合 (全面積 10,435.64㎡)		整備済公園面積 / 公園整備予定面積 (整備済み面積 8,696.73㎡ 平成16年度末現在)			(平成19) 年度に (10435.64㎡) の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
成果の達成状況							
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
事業成果指標	目標値 1	㎡	2,626.78	2,626.78	2,626.78	2,626.78	地区内区画道路として街路1号、4号、7号から11号は完了し街路2号、3号は、一部完了しています。 地区計画に位置づけた街路全体の道路整備率は64%です。
	実績 1	㎡	50.19	50.19	50.19	50.19	
	= /	%	1.91	1.91	1.91	1.91	
	目標値 2	㎡	10,435.64	10,435.64	10,435.64	10,435.64	
	実績 2	㎡	8,696.73	9,199.96	9,887.07	10,435.64	
	= /	%	83.34	88.16	94.74	100.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	ポケットパークの整備(687.11㎡)第 期						
平成19年度	ポケットパークの整備(548.57㎡)第 期 本年度もって、ポケットパークの整備計画は完了						

部名称		みどり土木部		課名称		道路課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	49,565	17,115	18,690	17,669	
	人件費	千円	0	0	3,312	3,304	
	事務費	千円	0	28	14	15	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	49,565	17,143	22,016	20,988	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	49,565	17,143	22,016	20,988	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	49,565	17,143	22,016	20,988	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.40	0.40	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>現在、地区計画に定められた道路の整備率は64%を越えており、区画街路5号線は未買収地があとわずかとなっています。また、区画街路3号、6号については、特に大規模用地が多いため、いかに確保し着実な整備を図るかが今後の課題です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	建築物の更新に併せた整備を予定しており、2%しか達成していませんが、公園については、平成17年度より整備を再開し、平成19年度で目標100%達成しました。				
	実施の成果	3	公園整備は、居住環境の向上、防災機能の強化等が期待できます。しかし、道路予定地として買収した用地について、路線全体で買収が未完了のため、未だ整備されず放置した状態です。				
	効率性	2	地区計画に基づき、関係権利者の事業進捗に合わせて事業実施をしています。公園予定地については、短期間で本整備するのが効率的・効果的であり、3か年の整備計画は妥当です。				
	行政の関与	3	区として防災上整備する必要があるため、地区計画に基づき区が建替えの誘導をしながら整備するものです。				
	妥当性	3	広域避難場所としての機能整備確保するだけでなく、「安全」「快適」を誘導・再生するものであり、妥当性が高いものです。				
	施策寄与度	2	道路整備はまちづくりの一環であり、住宅の不燃化促進、適正な公園整備と併せて一体的に進めることが重要です。公園整備により、広域避難場所としての機能強化と良好な居住環境の創出が図れました。				
総合評価	19年度評価をBとした理由は、公園整備が完了し、防災機能の強化や居住環境改善が図られたためです。また、過去3年間の実績はBと評価します。当初計画どおり公園整備が完了し目的である良好な住環境整備、広域避難場所としての機能強化が図られたためです。						B
							過年度評価 18年度 B 17年度 B 16年度 B 15年度
改革方針	現在、地区計画に定められた道路の整備率は64%を越えており、区画街路5号線は未買収地があとわずかとなっています。こうした状況を踏まえ、区画街路3号、6号など特に大規模用地が多い路線については、いかに確保し、着実な整備につなげるかを創意工夫しながら、今後は、早期に道路整備を行なうことで良好な住環境を創作し、防災機能の強化を図れるように、第一次実行計画「43 百人町三・四丁目地区の道路・公園整備」に引き継いで検討し、事業を推進していきます。						方向性 1 現状のまま継続